NEWS RELEASE

２０２６年１１月１２日
京王電鉄株式会社
株式会社 amulapo

「高尾の森わくわくビレッジ」が“月面基地”に！
親子で宇宙飛行士になれる１泊２日の宇宙教育プログラム
「多摩スペースキャンプ」を２０２７年１月・２月に開催！

１１月１６日から参加募集開始！

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、代表取締役社長：都村　智史、以下「京王電鉄」）と株式会社 amulapo（本社：東京都新宿区、代表取締役：田中　克明、以下「amulapo」）は、**東京都八王子市の「高尾の森わくわくビレッジ」（以下「わくわくビレッジ」）を月面基地に見立てた１泊２日の親子向け宇宙教育プログラム「多摩スペースキャンプ」（以下「本プログラム」）を、わくわくビレッジにおける体験プログラムの拡充と継続展開の可能性を探る実証企画として２０２７年１月・２月に開催し、１１月１６日（月）から参加者の募集を開始**します。

本プログラムでは、参加者が月面基地で暮らす宇宙飛行士となり、**ＶＲ体験やロボットプログラミング、星空観察、宇宙食学習などのミッションに挑戦しながら、地球への帰還を目指します。ストーリー仕立ての体験を通じて、親子で楽しみながら宇宙について学ぶことができます。**

なお本プログラムは、東京都多摩イノベーションエコシステム促進事業のリーディングプロジェクトの一環として実施するもので、２社で連携して将来の宇宙開発に貢献できる人財の裾野拡大を目指すとともに**わくわくビレッジでの継続的な展開や、学校の遠足・修学旅行での活用も視野**に入れてまいります。

わくわくビレッジでは、「みらいにもっとわくわくを」を事業コンセプトに、今後も地域の大学や企業、生産者等の地域リソースを活かし、**次世代を担う子どもたちに様々な学びの機会を提供し、施設価値向上を目指してまいります。**



≪キービジュアル≫



≪体験イメージ≫

本件のポイント

① 京王電鉄と amulapo は、わくわくビレッジにおける教育プログラムの拡充と継続展開の可能性を探る実証企画として、**同施設を月面基地に見立てた１泊２日の親子向け宇宙教育プログラム「多摩スペースキャンプ」を共同開発。２０２７年１月９日（土）～１０日（日）、２月１３日（土）～１４日（日）の開催を予定しており、１１月１６日（月）から参加者の募集を開始。**

② 本プログラムでは、参加者が宇宙飛行士となって、ＶＲ体験やロボットプログラミング、星空観察、宇宙食学習、ロケット工作など、ストーリー仕立ての多彩な宇宙体験ができる。

③ 本プログラムを通じ、２社で連携して将来の宇宙開発に貢献できる人財の裾野拡大を目指すとともに、**わくわくビレッジでの継続的な展開や学校の遠足、修学旅行などでの活用も視野に入れる。**

１．京王電鉄と amulapo が実施する宇宙教育プログラムについて

（１）プログラム開発の目的および背景

京王電鉄ではわくわくビレッジにおいて、「みらいにもっとわくわくを」をコンセプトに高尾の自然豊かな立地や高校跡地である施設を活かし、地域の大学や企業、生産者などの地域リソースを活かした多摩ならではの地域循環型教育を行うことを目指しています。

また amulapo では、ｘＲ、ロボット、ＡＩなどのＩＣＴ技術を用いて、宇宙体験コンテンツを制作しています。２０５０年に向け、科学技術の発信と社会実装を担い、科学技術の振興を目指しながら、楽しい未来体験を提供しています。

昨年度、京王電鉄と amulapo は多摩地域における宇宙教育の事業性と需要分析に関する実証実験プログラム「バーチャル宇宙飛行士選抜試験」をわくわくビレッジにて実施しました。その際に参加者から寄せられた「もっと気軽に宇宙について知りたい、体験したい」という声を受け、今年度はわくわくビレッジの宿泊施設や自然環境を活かした、ストーリー性のある１泊２日の宇宙教育プログラムを開発し、参加者を募集する運びとなりました。

（２）プログラム名

「多摩スペースキャンプ」～高尾ムーンベース（月面基地）から地球へ帰還せよ！～



≪中吊り広告イメージ≫

（３）開催日時

日程①　２０２７年１月　９日（土）～１０日（日）
日程②　２０２７年２月１３日（土）～１４日（日）
※１日目１２：３０受付開始、２日目１６：００解散（予定）

（４）開催場所

高尾の森わくわくビレッジ（東京都八王子市川町５５）

（５）実施内容

参加者は「高尾ムーンベース（月面基地）」で暮らす宇宙飛行士として、仲間とともに月面でのミッションに挑戦し、地球への帰還を目指します。

【１日目】・月面着陸のＶＲ体験と宇宙開発の歴史に関する講座
・チームビルディング
・ロボットプログラミングによる月面探査ミッション
・月での宇宙観測講座と望遠鏡工作
・星空観察（雨天時は室内星空ワークショップ）
【２日目】・月の環境で作るまちを考えるワークショップとＶＲ体験
・昼食づくり
・バルーンロケット・パラシュートの工作と実習
・修了式

※内容は変更となる場合があります。

（６）対象者

小学生とその保護者（中学生も参加可）
※推奨年齢：小学３年生～６年生
※お子さまのみでの参加は不可となります。

（７）参加費

１組２名　６４，８００円（税込み）

※大人・子供追加１人あたり：３０，０００円

（８）募集人数

日程①　６組１２名程度　日程②　５組１０名程度　※先着順

※最少催行人数：３組６名以上

※１組あたり２～４名での参加を想定しています。

（９）募集期間

１１月１６日（月）６：００～１１月３０日（月）２３：００

(10) 応募方法

下記イベントサイトまたは応募用二次元コードからお申し込みください。

イベントサイトＵＲＬ：https://www.amulapo.net/tama-space-camp

※持ち物などの詳細は、お申し込み後にご案内します。

≪応募用二次元コード≫

２．お客さまのお問い合わせ先

株式会社 amulapo イベント担当　メール：contact@amulapo-inc.com

【参考１】京王電鉄株式会社について

京王線と井の頭線からなり、東京都西部と神奈川県北部をおもな事業エリアとしています。グループ全体では生活関連サービス事業者として交通業、不動産業、ホテル業などの事業を展開しています。

代 表 者：都村　智史

本社所在地：東京都多摩市関戸一丁目９番地１

ホームページ：https://www.keio.co.jp/

事業内容：鉄道事業、土地、建物の賃貸業・販売業など

【参考２】「高尾の森わくわくビレッジ」について

東京都のＰＦＩ事業により運営されている、都立八王子高陵高校の建物を再利用して作られた、宿泊可能な体験型学習施設です。緑豊かな環境の中、人々が自然とふれあいながら家庭や学校では体験できない学びの喜びを発見できる場を目指しています。ご家族での宿泊や学校・クラブの合宿、企業研修、スポーツ、キャンプなど、子どもから大人まで全ての方にご利用いただけます。地域に密着してきた京王グループと、青少年社会教育に貢献してきた東京ＹＭＣＡグループが、ノウハウを活かし総力をあげて運営に取り組んでいます。



≪施設外観≫

所 在 地：東京都八王子市川町５５

アクセス：京王高尾線・ＪＲ「高尾駅」からバスで１４分

ホームページ：https://www.wakuwaku-village.com/

【参考３】株式会社 amulapo について

amulapo（アミュラポ）は、ｘＲ、ロボット、ＡＩなどのＩＣＴ技術を用いて、宇宙体験コンテンツを制作する若手の技術者集団です。２０５０年に向け、科学技術の発信と社会実装を担い、科学技術の振興を目指しながら、楽しい未来体験をお届けします。

代 表 者：田中　克明

本社所在地：東京都新宿区若松町３５－１５　第一村田ビル２０１号

ホームページ：https://www.amulapo-inc.com/

事業内容：ＶＲ・ＡＲなど先端技術を活用した宇宙体験型コンテンツの企画・制作。教育・観光イベントや地域連携を通じ、科学技術の魅力と宇宙産業の可能性を広める。

【参考４】東京都多摩イノベーションエコシステム促進事業のリーディングプロジェクトについて

多摩地域に根ざした中小企業や研究機関の豊富な技術力を最大限に活用し、地域が抱える様々な課題を解決する革新的な製品やサービスの創出を目指す取り組みです。多様な主体が協働し、地域の持続可能な発展と新たなビジネス機会の創出、地域活性化を推進しています。

昨年度は、わくわくビレッジにて多摩地域における宇宙教育の事業性と需要分析に関する実証実験プログラム「バーチャル宇宙飛行士選抜試験」を実施しました。

（参考）２０２５年９月１７日付ニュースリリース
『１０月１１日・１２日に「高尾の森わくわくビレッジ」で子どもたちの宇宙に対する興味関心データを収集する実証実験を実施！』
https://www.keio.co.jp/news/update/news_release/news_release2025/pdf/nr20250917_amulapo.pdf